

# 大津企業景況調査報告書

(第41回)

平成20年 4月～ 6月期 実績

平成20年 7月～ 9月期 見通し

大津商工会議所

# 大津企業景況調査について

(平成20年4月～6月期)

## 1. 調査方法

大津商工会議所会員企業100社にFAX方式による調査

## 2. 調査企業

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	回収率
建設業	20社	19社	95.0%
製造業	10社	10社	100.0%
卸売業	10社	10社	100.0%
小売業	30社	29社	96.7%
サービス業	30社	29社	96.7%
合計	100社	97社	97.0%

## 3. 調査期間

調査対象期間は平成20年4月～6月とし、調査時点は平成20年6月5日とした。

## 4. 調査データについて

調査の結果を示す指数としてDI指数を採用した。DI指数とはDiffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」のDI指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」のDI指数は、3ヵ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」のDI指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

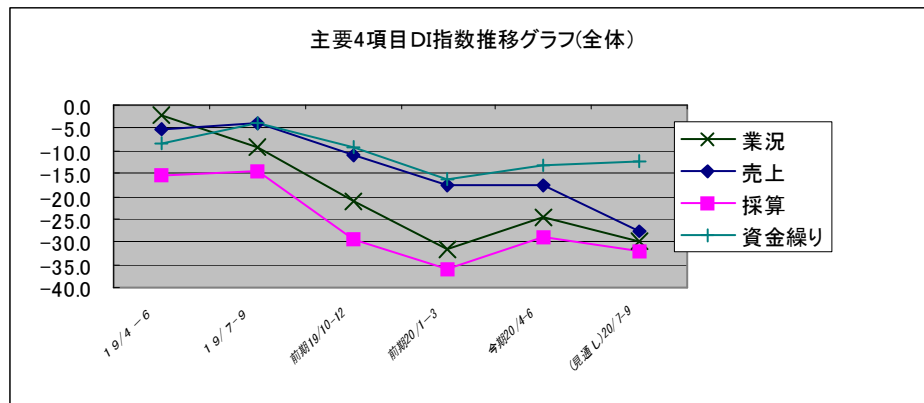
## 資源高が影響、景況感は悪化が続く

平成20年4月～6月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数としてDI指数（景気動向指数）を採用している。DI指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

### 全体

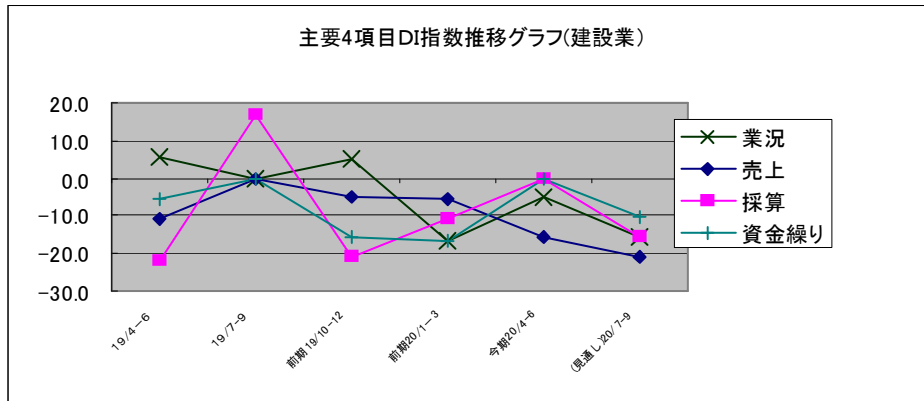
景況感は前期に悪化傾向が強まっていたが、資源高が影響し今期も悪化が続いている。全体のDI指数をみると「業況」指数（「好転」－「悪化」）は、前期の▲31から今期▲25と悪化が続いている。「売上」指数（「増加」－「減少」）も▲17から▲18と売上減少が続いている。「採算（経常利益）」指数（「好転」－「悪化」）は▲35から▲29に悪化が続いている。この結果、長らくプラスが続いていた「採算（経常利益）水準」指数（「黒字」－「赤字」）も今期からマイナス（赤字）に転落した。「従業員」指数（「不足」－「過剰」）は+15から+7とプラス幅が縮小したのは、労働力が中小企業に回らないための人手不足感が大企業で求人が減りやや和らいだためとみられる。「資金繰り」指数（「好転」－「悪化」）は▲16から▲13と悪化が続いている。このように悪化傾向が続いているのは、原油などエネルギー・原材料価格が高騰しているのに販売価格に転嫁できない中小企業が多いこと、家計が節約志向になって消費を抑え気味にしていること等が中小企業経営を圧迫しているためとみられる。

業種別にみても全業種で景況感が悪化している。



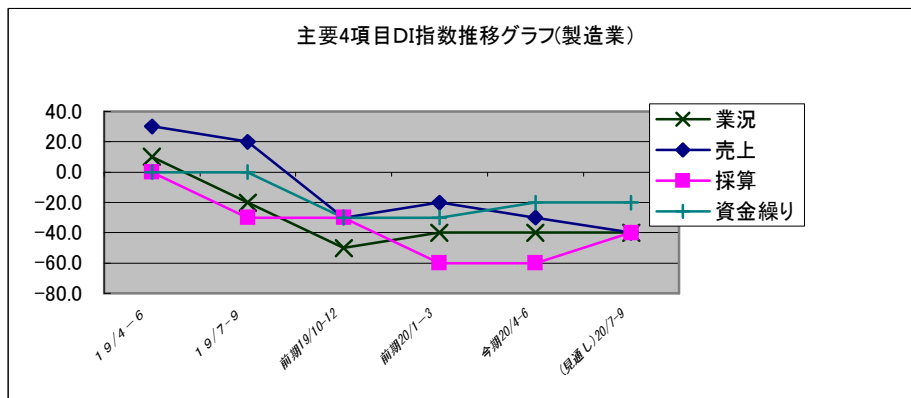
## 建設業

DI 指数をみると「業況」は前期▲17 と悪化に転じたが今期も▲5 と悪化が続いている。「売上」が前期の▲6 が今期も▲16 とさらに減少が続き、「取引の問合せ」は▲11 から▲21 と少なくなっている。「採算」は▲11 から 0 と前年並になった。「従業員」は前期+39 と人員不足であったが今期は+5 と和らいだ。「資金繰り」は▲17 から 0 と悪化が止まった。



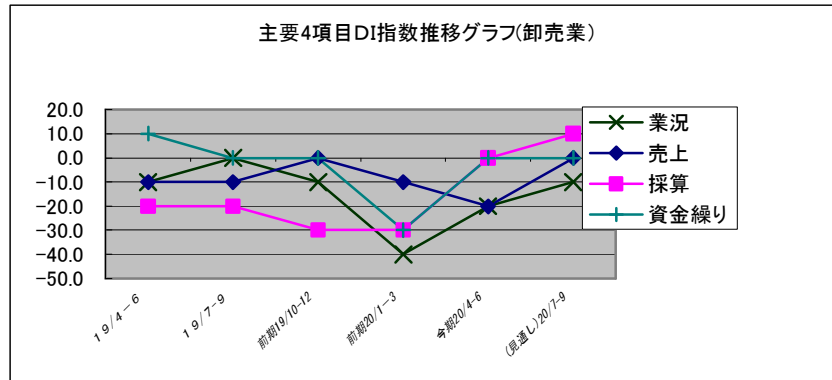
## 製造業

DI 指数をみると「業況」は前期▲40(悪化)が今期も▲40 と悪化が続いている。「売上」が▲20 から▲30 と減少が続き、「採算水準」は+50 から+30 とプラス(黒字)で推移しているが、「採算」は▲60 から▲60 と悪化が続いている。「従業員」は 0(不変)が続いている。「資金繰り」は▲30 から▲20 で悪化が続いている。業況の悪化は原油などエネルギー・原材料価格が高騰しているのに販売価格に転嫁できないことが主な要因とみられる。



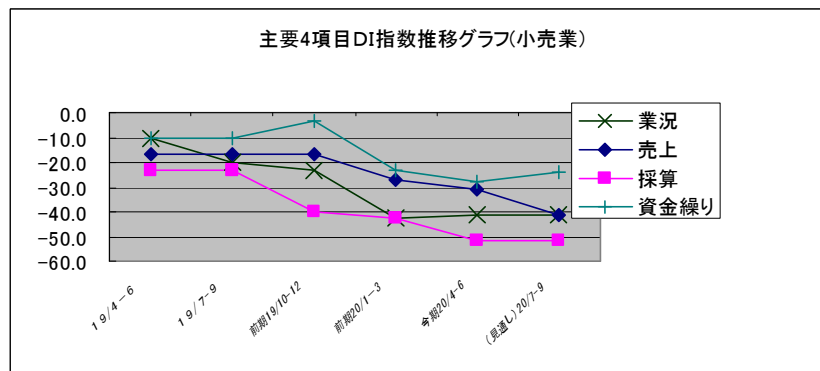
## 卸売業

DI 指数をみると「業況」は前期の▲40(悪化)から今期▲20 と悪化傾向の度合いが縮小した。「売上」は前期▲10(減少)から今期▲20 と減少が続いている一方、「採算」は前期▲30 から今期 0(不変)と悪化が止まり、「資金繰り」も▲30 から 0(不変)と悪化が止まった。「従業員」は前期の▲10(過剰)から今期 0(不変)となった。



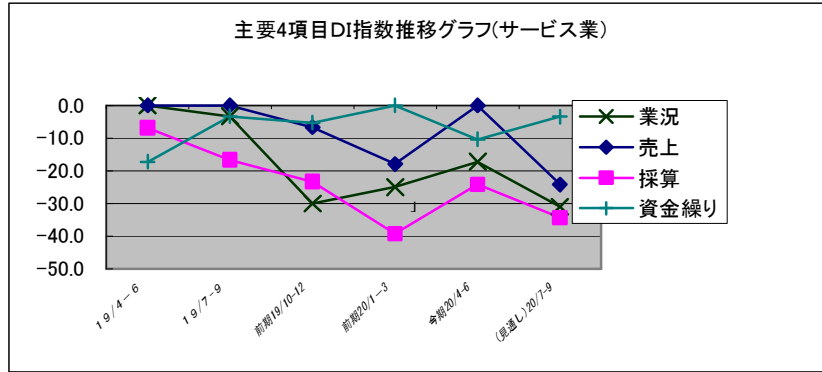
## 小売業

DI 指数をみると「業況」は前期の▲42 から今期▲41 と悪化傾向が続いている。「売上」は▲27 から▲31 とさらに減少し、「採算」も▲42 から▲52 と悪化が強まっている。「取引の問合せ」は▲35 から▲45 と低調に推移している。「従業員」は+15 から+3 と人員不足感は緩和している。「資金繰り」は▲23 から▲28 と悪化が続いており、「資金調達」も厳しい状況である。これは、家計が節約志向になって消費を抑え気味にしていること等が中小商店の経営を圧迫しているためとみられる。



## サービス業

DI 指数をみると「業況」は前期▲25（悪化）から今期は▲17 と悪化傾向が続いている。「売上」は前期▲18 から今期 0（不変）と減少が一服したものの「採算」は▲39 から▲24 と悪化が続いている。「従業員」は+14 から+17 と人員不足感が継続している。「資金繰り」は 0（不変）から▲10 となりやや悪化した。



今の経済情勢に対する意見は、原油高騰およびそれによる原材料高が販売価格に転嫁できず厳しい状況というものが多い。そして原油高騰の原因のうち世界の投機資金がマネーゲームのようにして価格を引き上げている点が問題だという指摘もあった。また物価の高騰、後期高齢者保険問題等から消費者の財布の紐がしまったというもの、秋に大型ショッピングセンター三つがオープンすることにより中小商店は大きな影響を受けそうというものもあった。そういう中で、新たな中小企業支援策に期待する声もあった。

来期の見通しについて、本調査では、全体に「業況」は悪化傾向が続くという見方が多い。「売上」はさらに減少し、「採算」は悪化が続き、「従業員」の不足傾向はやや緩和されるとみている。業種別にみるとすべての業種で悪化傾向が続くが、卸売業では業況の悪化度合いが縮小する見込み。建設業、サービス業では業況の悪化度合いが増す見込みである。他は今期並みで推移する見通しである。

来期の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合が 23%で、特に製造業では 70%が計画している。設備投資の中味は設備更新投資が 41%と多く、生産力増強投資が 19%、合理化・省力化投資が 15%である。今後の景気にかかわらず計画通り投資を行うとする企業が 55%であるが、景気により見直すとする企業が 32%あり、慎重な動きが増えてきた。

(中小企業診断士 田中清行)

## (今の経済情勢に対する意見)

今の経済情勢に対する意見を寄せた企業は13社であった。

- ・ 原材料ならびに諸物価の高騰により景気は低迷も。
- ・ 原材料高に依る利益率の低下先行き不安な現状。
- ・ 原油高騰およびそれによる原材料費アップ等が収支に影響する。
- ・ ガソリンの高騰により遠隔地の仕事は安価では受注できなくなる。10 →180m/ℓ  
→190 円→200 円→赤字
- ・ ガソリン値上げ等、不安材料が多く、景気下降です。
- ・ ガソリンの高騰が止まらない今日、その原因は原油の需要以上に投資目的の金儲けのための資金流入によるものであることはマスコミ報道等で知られている。本来商業活動に生かさなければならぬお金が逆に商工業を苦しめている姿は本末転倒であると思う。最近のマネーゲームと言ってよい様々なお金儲けがはびこっている現実を見ていると原点に戻ってあるべき姿を考えることが必要ではないかと思える。
- ・ 金余りの何兆ドルという巨大な投機資本が原油市場、穀物市場に流れているため諸物価が値上げし、また中国、インドの需要が多いということに対して政府も打つ手(政策)を考えて欲しい！！特に税金とかガソリン税に対し。
- ・ 石油の高騰、後期高齢者保険制度による財布の紐がしまってしまったこと。消費者庁の創設予定に伴う小売業の締め付けなど社会情勢の不安。
- ・ 秋オープンの大型SC3 箇所。かなり大きな影響を受けると思う。
- ・ 長期的な見通しが立たない。
- ・ オリンピック等のイベントがありますが、もう一つ推進できてない。業界全体も低迷しているみたいです。
- ・ 厳しい。
- ・ 中小企業支援って、どんなのかな？と期待しています。

DI指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し
全 体	▲ 24.7	▲ 29.9	▲ 17.5	▲ 27.8	▲ 28.9	▲ 32.0
建 設 業	▲ 5.3	▲ 15.8	▲ 15.8	▲ 21.1	0.0	▲ 15.8
製 造 業	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 40.0
卸 売 業	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 20.0	0.0	0.0	10.0
小 売 業	▲ 41.4	▲ 41.4	▲ 31.0	▲ 41.4	▲ 51.7	▲ 51.7
サービス業	▲ 17.2	▲ 31.0	0.0	▲ 24.1	▲ 24.1	▲ 34.5
	昨年の同期との比較		昨年の同期との比較		昨年の同期との比較	
	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見通し
全 体	▲ 5.2	▲ 6.2	▲ 34.0	▲ 37.1	7.2	6.2
建 設 業	5.3	▲ 10.5	▲ 21.1	▲ 31.6	5.3	5.3
製 造 業	30.0	30.0	▲ 40.0	▲ 30.0	0.0	10.0
卸 売 業	20.0	20.0	▲ 30.0	▲ 20.0	0.0	0.0
小 売 業	▲ 34.5	▲ 34.5	▲ 44.8	▲ 48.3	3.4	0.0
サービス業	▲ 3.4	3.4	▲ 31.0	▲ 37.9	17.2	13.8
	該当期について		該当期について		昨年の同期との比較	



	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し
全体	▲ 13.4	▲ 12.4	▲ 8.2	▲ 11.3	▲ 8.2	▲ 11.3
建設業	0.0	▲ 10.5	0.0	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 10.5
製造業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	▲ 27.6	▲ 24.1	▲ 13.8	▲ 20.7	▲ 10.3	▲ 17.2
サービス業	▲ 10.3	▲ 3.4	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 10.3	▲ 10.3
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

## 大津商工会議所

〒520-0806 大津市打出浜2番1号

コラボしが21・9F

TEL 077-511-1501

FAX 077-526-0795

URL <http://www.otsucci.or.jp/>